

平成29年度つくば市×雙峰祭プロジェクト報告書

平成29年度筑波大学学園祭実行委員会 委員長 田辺飛鷹

今年度の学園祭の目的の一部である、「つくば市を中心に本学の魅力を広く発信する」の達成を目指し、つくば市と協力して広報や企画を行った。今年度実施した2企画について、概要とその実施状況を報告する。

企画概要

1. インスタフォトコンテスト

7月から10月の期間、つくば市内の写真を「#つくばの〇月」,「#雙峰祭」のタグを付けInstagramに投稿してもらい、それらの中から市役所職員および学園祭実行委員会の毎月の投票により写真を毎月5枚選出した。選出された写真はつくば市市長公室広報広聴課シティプロモーション室が運営するアカウント「tsukubafanclub」にて紹介した。

また、雙峰祭当日は、「#雙峰祭」もしくは「#つくジュニック」とタグを付けて投稿した写真を、会場内に設置した「PICSPOT PRINTER」という印刷機によりその場で印刷、雙峰祭オリジナル台紙に挟んで渡した。

2. フォトマッピングプロジェクト

筑波大学生がつくば市周辺地域にある、大学生が好むような雰囲気やサービス、景色をもつスポットを集めて、それらを紹介するタブロイド紙を作成した。

学内においては写真部・新聞部、学外においては地元情報誌「常陽リビング」を発行する株式会社常陽リビング社と連携した。

また、今後市のイベントや筑波大学における新入生歓迎の場においても配布可能なものを作成した。

実施結果

1. インスタフォトコンテスト

合計で約500件の投稿があった。毎月の投票により選ばれた20枚の写真は雙峰祭当日に特設ブースにて展示した。「PICSPOT PRINTER」による写真印刷枚数はおよそ400枚であった。

本祭1日目にはつくば市長にお越しいただき、学長とともに「PICSPOT PRINTER」を設置した特設ブースにて写真撮影を行なった。また、展示された写真をご覧いただいた。

2. フォトマッピングプロジェクト

タブロイド紙は、雙峰祭当日に約1万部配布をした。

学外においては、市内の学校(竹園高校等)や市役所内に設置した。